

東日本大震災災害支援報告書

巡回日 平成25年 7月6日(土)～7日(日)	巡回先名 岩手県上閉伊郡大槌町 小槌第17仮設住宅 小槌第2仮設住宅 吉里吉里第5仮設住宅
-------------------------------	---

担当者名	白根雅之(歯科医師)	歯科医師	歯科衛生士	歯科サポート兼ハン ドトリートメント施術ボランティア
		職種		(歯科 S&H)
		所属	岩手三陸復興の狼煙作戦	

巡回メンバー (メンバーの氏名と職種・所属)

- 白根雅之：歯科医師 埼玉県歯科医師会 岩手三陸復興の狼煙作戦
清水夏子：歯科衛生士 所沢あおぞら歯科診療所 岩手三陸復興の狼煙作戦
*清家瑞穂：会社員 サンスター株式会社勤務 岩手三陸復興の狼煙作戦
山崎耀樹：元教員 現地駐在(釜石) 支援員兼記録者 岩手三陸復興の狼煙作戦
*印は、歯科サポート兼ハンドトリートメント施術ボランティア
(以下：歯科 S&H と称す)
歯科医師 1名、歯科衛生士 1名 歯科 S&H 1名 支援員兼記録者 1名 計 4名

協力者

岩手県県上閉伊郡大槌町地域支援員配置事業
特定非営利法人 アムダ大槌健康サポートセンター

支援内容

“一生自分のお口で食べよう”というテーマのもと、健口体操はじめお口の機能訓練を通じて、震災後の多くの条件により引き起こされると言われている“誤嚥性肺炎”の防止に取り組んだ。そして、お口に関する心配事を伺い、入れ歯の調整など簡単な応急処置を行うとともに、治療および定期的な健診の必要性

に応じて書面による地元歯科医院への情報提供および受信勧奨を行った。

支援ご参加の人数

<小槌第 17・2 仮設住宅談話室>

・口腔機能の向上に関する講話	7人
・健口体操	7人
・歯科健診	6人
・口腔衛生指導	6人
・義歯調整をはじめとする簡単な歯科治療	3人
・ハンドトリートメントによる脱感作施術	6人

<吉里吉里第 5 仮設住宅談話室>

・口腔機能の向上に関する講話	6人
・健口体操	6人
・歯科健診	7人
・口腔衛生指導	7人
・義歯調整をはじめとする簡単な歯科治療	3人
・ハンドトリートメントによる脱感作施術	7人

協賛

サンスター株式会社：保湿剤（バトラージェルスプレー、うるおい透明ジェル）、
歯間ブラシ、歯ブラシ。

グラクソ・スミスクライン株式会社：ポリデント

モリタ株式会社：チェックアップジェル

T&K株式会社：保湿剤他サンプル製品や指導書

考察

歯科診療に重点を置くことではなく、閉じこもりなどによる体力の低下や廃用性萎縮による口腔機能の低下に伴う“誤嚥性肺炎の予防”をテーマに支援に携わらせて頂いた。以前いらした歯科ボランティアによる口腔ケアの話を知っていていらっしゃる方もおられて、お口添えを頂いたりして、スムーズな導入となった。口腔ケアに関する講話→健口体操→吹き戻し笛を用いた口唇閉鎖及びブローイング訓練など、楽しく進めることができた。同時にハンドトリートメントによる脱感作作用も十分にその効果を発揮していたと観察する。

支援に入る際歯科診療に関しては“ある程度充実して来ているのではないだろうか”と予想していたが、実際携わらせていただくと、思ったより復興がなされていないことがわかった。歯科治療の必要性を住民の方々は自覚しているようであるが、歯科医院を受診する交通手段が乏しかったり、歯科医院を受診しても待ち時間や予約の間隔が長かったりで治療が一向に進まなかったり、そのうち放置してしまっている方々が予想より沢山いらした。また独居であったり、身体的理由により歯科医院への通院が困難な方への支援の必要性は変わ

っていないと思われる。

終了後は多くの方々に再訪のオファーを頂き、後ろ髪を引かれる思いの中で車上の人となった。(白根雅之 記)

ハンドとリートメントでは、施術による脱感作効果と同時に、参加いただいた方々のお話を傾聴することにも重きを置いている。震災から2年4ヶ月が過ぎ、精神面では少しずつ日常を取り戻している一方で、山間部の仮設住宅の不便な生活によって、外出の機会が少ないことには変わりがなく、参加者の方々からは、運動不足や体重増加を気にする声が多く聞かれた。昨年度までは震災前の生活の話聞かせてくださる方が多かったのに対し、今年度に入ってから、震災当初の話をダイレクトにする方が増えてきている。仮設住宅での人とのつながりもでき、精神的ダメージが徐々に薄らぎはじめているのかもしれない。

週末は家族で外出する人が多いが、外出する機会や手段を持たない方々にとって、来訪者による催しがあることは有難いという声もあった。外部ボランティアが減っていると聞くので、行政が地域の団体が定期的にフォローアップできるよう、改めて外部支援を求めても良いと思う。マスコミによる情報が激減している中で、地元からの外部への情報発信は重要で、より具体的な支援の要請であるほど外部も協力がしやすい。

今回住民の方から伺った話を通して、リフレッシュするための機会が望まれているように感じた。自治会単位でのバスツアーなど機会があれば、外出しようとする気持ちが生まれたり、気分転換になったりするのではないか。一泊の温泉宿泊、遠方でなくても、復興地の夏祭りや花火大会など近隣で開催される場所へ日帰りで出かけられるだけでも良いと思う。(清家瑞穂 記)



健口体操 (小槌)



歯科健診 (小槌)



会話を楽しみながらの
ハンドトリートメント（小槌）



口腔衛生指導（小槌）



健口体操（吉里吉里）



歯科相談とハンドトリートメントの
コラボレーション（吉里吉里）



片付けながらのコミュニケーション
（吉里吉里）



再訪を約束して（吉里吉里）



再訪を約束して（小槌）



再訪を約束して（小槌）

私たちの支援は、日本財団の支援のもとに行われています。



巡回許可

岩手県歯科医師会

岩手県釜石歯科医師会 小松元先生

岩手三陸復興の狼煙作戦 代表 佐々木龍夫
〒131-0031 東京都墨田区墨田 4-2-4-201